

◆昭和100年記念◆ 企画展「昭和の記憶」を開催します

堺市では、第二次世界大戦中の空襲に先立って実施された堺の建物疎開とその過程で行われた記録活動、そして空襲後に市民の暮らしがどのように復興したかを紹介する企画展「昭和の記憶」を開催します。

本展では、堺市有形文化財に新たに指定された「堺市建物疎開記録関係資料」（堺市立中央図書館蔵）等を展示し、貴重な資料から昭和の暮らしを感じていただけます。

また、関連事業として、記念講演会、学芸講座、展示品解説を開催します。

1 開催概要

企画展名	昭和の記憶
日時	令和8年4月1日（水）～6月14日（日） 開館時間：午前9時30分～午後5時15分（入館は午後4時30分まで） 休館日：月曜日（5月4日は開館）
場所	堺市博物館展示場（堺市堺区百舌鳥夕雲町2丁 大仙公園内） 交通：JR阪和線「百舌鳥」駅下車 西へ約500m 南海バス「堺市博物館前」停留所下車 南へ約280m
観覧料	一般200円（160円）、高校・大学生100円（70円）、小・中学生50円（30円） ※（ ）内は20人以上の団体料金 ※堺市在住・在学の小・中学生は無料 ※堺市在住の65歳以上の方、障害のある方は無料（要証明書）

2 展示構成・主な展示資料（詳細は別紙をご覧ください。）

第1章 昭和初期の堺の姿

昭和初期の堺の街の姿や文化を鳥瞰図等で紹介します。

主な展示資料	制作時期	所蔵者
『堺市史』	昭和6年	堺市博物館
吉田初三郎「堺市鳥瞰図」（原画）	昭和10年	堺市博物館

第2章 消えゆく街の姿を残せ

昭和19年の建物疎開で堺の街はその姿を消しました。疎開前の景観を記録に留めた堺市疎開地区記録事業を紹介します。

主な展示資料	制作時期	所蔵者
【新指定】岸谷勢蔵「堺市第一次疎開地区記録」	昭和19年	堺市立中央図書館
【新指定】「疎開地写真記録」	昭和19年	堺市立中央図書館
岸谷勢蔵「堺市第一次疎開地区記録」（原画）	昭和19年	堺市博物館

第3章 不死鳥（フェニックス）のはばたき

壊滅的な被害からたくましくよみがえり、不死鳥にたとえられる戦後の堺を紹介します。

主な展示資料	制作時期	所蔵者
岸谷勢蔵「堺市民踊りスケッチ帖」	昭和23年	堺市博物館
岸谷勢蔵「鯨まつり」	昭和29年	堺市博物館

第4章 あたらしい堺

戦後の高度経済成長期に発展した堺の姿を紹介します。

主な展示資料	制作時期	所蔵者
岸谷勢蔵「ニュータウンの造成スケッチ」	昭和時代	堺市博物館
岸谷勢蔵「八幡宮の月見祭」	昭和時代	堺市博物館

3 関連事業 <すべて事前申込不要・先着順>

・記念講演会

日時	令和8年5月31日（日）午後2時～午後3時30分
場所	堺市博物館地階ホール
定員	80名
参加費	無料
内容	テーマ：「昭和100年 堺」 講師：竹田芳則氏（奈良大学教授）

・学芸講座

日時	令和8年4月19日（日）午後2時～午後3時30分
場所	堺市博物館地階ホール
定員	80名
参加費	無料
内容	テーマ：「消えゆく街の姿を残した人々」 講師：堺市博物館学芸員

・展示品解説

日時	令和8年4月1日（水）～4月5日（日）、5月2日（土）、6月7日（日） 午後2時～午後2時20分
場所	堺市博物館展示場
定員	各回20名程度
参加費	観覧料
講師	堺市博物館学芸員

4 その他

企画展及び関連事業の詳細は以下の堺市博物館ホームページをご確認ください。

https://www.city.sakai.lg.jp/kanko/hakubutsukan/exhibition/kikaku_takubetsu/showakioku.html

問い合わせ先	担当 課：文化観光局 歴史遺産活用部 博物館 学芸課 電話：072-245-6201 ファックス：072-245-6263
--------	---

別紙 企画展「昭和の記憶」主な展示品

岸谷勢蔵 堺市第一次疎開地区記録（さかいし だいいちじ そかいちくきろく）部分【新指定】

昭和 19（1944）年 堺市立中央図書館蔵



堺区宿院付近の約 2 km の景観を 25m ほどの貼り継いた紙に記録した作品です。昭和 19 年に堺市が芸術報国連盟に委嘱した疎開地区記録事業の一環として画家の岸谷勢蔵が制作しました。掲載部分は、宿院の繁華街にあつた映画館「卯之日座」の景観です。

疎開地写真記録（そかいち しやしん きろく）【新指定】

昭和 19（1944）年 堺市立中央図書館蔵



疎開地区記録事業では、多くの記録写真が撮影されました。

現在、堺市立中央図書館には、昭和 19~20 年にかけて撮られた写真 210 枚が残されています。

掲載部分は、疎開作業で壊される「卯之日座」を撮影したものです。

岸谷勢蔵 堺市民踊りスケッチ帖（さかい しみんおどり すけっち ちょう）

昭和 23（1948）年 堺市博物館蔵



戦時下では、麻雀・登山・野球・相撲・盆踊り等あらゆる娯楽や行事が中止されていましたが、戦後、それらが一斉に復活し、市民の暮らしは一気に明るくなりました。この絵は、昭和 23 年 9 月に催された堺市民による踊りの様子を岸谷がスケッチした作品です。地域ごとにチームを編成して踊りのうまさを競いました。図の左が深井チーム（中区）、中央が踞尾チーム（西区）、右が山ノ口チーム（堺区）です。成人だけでなく児童も参加していました。

岸谷勢蔵 鯨まつり（くじらまつり）

昭和 29（1954）年 堺市博物館蔵



鯨まつりは、出島浜（堺区）で催されていた豊漁と海上安全を祈願する祭りです。戦争で中断していましたが、昭和 29 年に催されました。この絵は、その際の様子を岸谷が描いたものと考えられます。漁師たちが、竹と布で作った全長 27m にも及ぶ巨大な鯨の山車を引き回し、鯨おどりや鯨音頭が披露されました。昭和時代の堺の浜の活気を感じることができる作品です。